

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月29日

上場会社名 株式会社ヒガシトウエンティワン 上場取引所 東
 コード番号 9029 URL <http://www.e-higashi.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金森 滋美
 問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 畠 秀一 (TEL) 06-6945-5611 (代表)
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日~平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	8,244	△8.8	302	△25.4	317	△23.9	178	△20.4
25年3月期第2四半期	9,035	0.1	405	22.5	417	25.3	224	24.0
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
26年3月期第2四半期	31.06		—					
25年3月期第2四半期	39.00		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	10,084	5,505	54.6
25年3月期	11,009	5,420	49.2

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 5,505百万円 25年3月期 5,420百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00
26年3月期	—	0.00			
26年3月期(予想)			—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,900	0.3	688	10.1	680	3.6	361	3.8	62.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	5,750,000株	25年3月期	5,750,000株
26年3月期2Q	205株	25年3月期	205株
26年3月期2Q	5,749,795株	25年3月期2Q	5,749,795株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策への期待感から円安と株高が進展するなど景況感に改善の兆しが見られたものの、海外経済の減速、来年度予定の消費税増税などの懸念材料もあり、依然として先行きは不透明な状況で推移しております。

貨物自動車運送業界においても、燃料価格の高止まりや、荷主からのコスト削減要請、価格競争の激化等、厳しい状態が続いております。

このような状況の中、当社は新規荷主の開拓や、既存荷主への深耕拡大に努めるとともに、内部管理体制の一層の充実やコスト削減努力並びに安全対策にも注力してまいりました。

当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高は82億44百万円(前年同期比8.8%減)、営業利益は3億2百万円(同25.4%減)、経常利益は3億17百万円(同23.9%減)、四半期純利益は1億78百万円(同20.4%減)となりました。これは、前年同期に大型スポット案件が集中していたこと等によるものですが、今年度計画に対しては、売上高、利益ともにほぼ堅調に推移しております。

セグメントの業績は以下の通りです。

①運送事業

当事業につきましては、売上高は58億56百万円(前年同期比8.5%減)となり、セグメント利益は4億13百万円(同16.8%減)となりました。これは、商業地区の再開発に伴う移転業務等新規獲得があったものの、前期スポットの店舗移設関連業務並びに大手顧客のシステム入替業務が収束したことによるものです。

②倉庫事業

当事業につきましては、売上高は14億78百万円(前年同期比4.3%増)となりましたが、セグメント利益は2億54百万円(同8.1%減)となりました。これは新規保管案件の複数獲得により売上が増加したものの、昨年からの一部倉庫の補修に係る残工事費用が発生したことによるものです。

③商品販売事業

当事業につきましては、売上高3億69百万円(前年同期比43.6%減)となり、セグメント利益は17百万円(同50.9%減)となりました。これは、大口顧客へのOAトナーの販売収束並びに梱包資材の販売減少によるものです。

④その他

当事業につきましては、売上高5億39百万円(前年同期比4.2%減)となり、セグメント利益は47百万円(同4.5%減)となりました。これは、データ処理業務を継続受注したものの、前期スポットの大口顧客のシステム入替に伴うIT関連事業及び駐車場事業の売上減少によるものです。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は100億84百万円となり、前事業年度末に比べ9億25百万円減少いたしました。資産の主要科目の増減は、現金及び預金が1億62百万円増加し、営業未収入金が回収により9億19百万円減少いたしました。

また、負債は45億78百万円となり、前事業年度末に比べ10億10百万円減少いたしました。負債の主要科目の増減は、営業未払金が8億20百万円減少いたしました。

純資産は利益剰余金の増加等により前事業年度末に比べ84百万円増加して55億5百万円となり、自己資本比率は5.4ポイント増加し54.6%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動により得られた資金が2億92百万円あり、投資活動により使用した資金が15百万円、財務活動により使用した資金が87百万円となりました。その結果、当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は8億8百万円(前年同期比11.6%増)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、2億92百万円(前年同期は1億66百万円)となりました。これは主に税引前四半期純利益3億16百万円、減価償却費1億22百万円、売上債権の回収による減少額9億6百万円と、仕入債務の支払による減少額8億89百万円の差引増減によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、15百万円(前年同期は13百万円)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、87百万円(前年同期は3億33百万円)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期の業績は、概ね当初計画の予想範囲内で推移しており、平成25年5月13日発表の通期業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	872,438	1,034,546
受取手形	367,781	380,162
営業未収入金	2,781,631	1,862,556
商品	23,473	21,707
その他	390,839	239,708
貸倒引当金	△6,298	△2,242
流動資産合計	4,429,864	3,536,439
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,650,232	2,635,005
機械装置及び運搬具(純額)	90,889	83,103
土地	2,788,437	2,783,339
その他(純額)	54,786	52,708
有形固定資産合計	5,584,346	5,554,157
無形固定資産		
投資その他の資産	109,472	101,130
投資有価証券	105,870	111,588
差入保証金	607,090	607,067
その他	244,104	244,582
貸倒引当金	△71,138	△70,758
投資その他の資産合計	885,926	892,479
固定資産合計	6,579,745	6,547,768
資産合計	11,009,610	10,084,207
負債の部		
流動負債		
支払手形	88,079	5,723
営業未払金	1,714,698	894,220
短期借入金	1,040,000	1,346,000
1年内返済予定の長期借入金	557,930	463,030
未払法人税等	122,368	144,338
賞与引当金	171,416	167,695
その他	508,584	322,424
流動負債合計	4,203,078	3,343,432
固定負債		
長期借入金	899,820	698,480
退職給付引当金	157,780	138,390
役員退職慰労引当金	131,560	139,800
その他	196,715	258,809
固定負債合計	1,385,876	1,235,480
負債合計	5,588,954	4,578,912

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	333,150	333,150
資本剰余金	95,950	95,950
利益剰余金	4,981,553	5,062,388
自己株式	△91	△91
株主資本合計	5,410,562	5,491,397
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,093	13,897
評価・換算差額等合計	10,093	13,897
純資産合計	5,420,655	5,505,294
負債純資産合計	11,009,610	10,084,207

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	9,035,849	8,244,022
売上原価	7,313,646	6,757,981
売上総利益	1,722,203	1,486,040
販売費及び一般管理費	1,317,165	1,183,911
営業利益	405,037	302,129
営業外収益		
受取賃貸料	20,806	18,486
その他	21,286	20,569
営業外収益合計	42,092	39,055
営業外費用		
支払利息	21,131	16,887
賃貸費用	6,848	5,880
その他	1,940	722
営業外費用合計	29,920	23,490
経常利益	417,209	317,693
特別利益		
投資有価証券売却益	—	4,728
特別利益合計	—	4,728
特別損失		
固定資産除却損	2,010	155
投資有価証券評価損	19,312	311
会員権売却損	412	—
減損損失	—	5,880
特別損失合計	21,735	6,348
税引前四半期純利益	395,474	316,073
法人税等	171,240	137,492
四半期純利益	224,234	178,581

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	395,474	316,073
減価償却費	131,675	122,190
売上債権の増減額 (△は増加)	706,151	906,693
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,091,142	△889,508
その他	241,831	△34,421
小計	383,989	421,027
利息及び配当金の受取額	3,564	3,440
利息の支払額	△20,347	△16,225
法人税等の支払額	△200,582	△115,636
営業活動によるキャッシュ・フロー	166,624	292,606
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△162,000	△126,000
定期預金の払戻による収入	189,000	153,000
有形固定資産の取得による支出	△44,950	△37,774
その他	4,121	△4,775
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,828	△15,550
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	246,000	306,000
長期借入金の返済による支出	△331,140	△296,240
その他	△248,312	△97,707
財務活動によるキャッシュ・フロー	△333,452	△87,947
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△180,657	189,108
現金及び現金同等物の期首残高	905,055	619,338
現金及び現金同等物の四半期末残高	724,397	808,446

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。